

平成 30 年 第 8 回定例教育委員会会議録

- 1 招集年月日 平成 30 年 8 月 21 日 (火) 14 時 00 分～
- 2 招集場所 佐々町役場 別館 2 階会議室
- 3 出席委員 黒川教育長、舩委員、齊藤委員、十時委員、山之内委員
- 4 事務局出席者 貞松指導主事、落合次長補佐、林枝係長
- 5 会議録署名委員の指名 十時 嘉代子 委員
- 6 前回の会議録の承認 平成 30 年 第 7 回定例教育委員会 (7/23)
- 7 教育長報告
- 8 案 件 議案第 24 号 平成 29 年度自己点検・評価について  
議案第 30 号 佐々町立図書館管理運営規則の一部改正について
- 9 報告事項
  - (1) 全国学力・学習状況調査について
  - (2) 佐々町学校給食施設整備検討委員会について
  - (3) 子ども議会について
  - (4) 平成 30 年度事業関係について
  - (5) 通学路における緊急合同点検について
  - (6) 熱中症への対応について
  - (7) 第 15 回長崎ゆめ総体開催記念ジュニア・バレーボール大会の延期について
  - (8) 名義後援について
  - (9) 準要保護の 8 月認定について
  - (10) 行事関係報告について
  - (11) その他
- 10 その他
  - (1) 次回開催日程 平成 30 年 9 月 25 日 (火) 14 時 00 分～
  - (2) 場 所 佐々町役場 別館 2 階会議室
  - (3) そ の 他

〈審議の経過（要約）〉

教育長	ただ今から、平成30年第8回定例教育委員会を開催します。
教育長	<b>5 会議録署名委員の指名</b> 本日の会議録署名委員を指名します。十時 嘉代子委員をお願いします。
教育長	<b>6 前回の会議録の承認</b> 前回の「平成30年第7回定例教育委員会会議録」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
教育長	今、説明がありましたが、質問や、お尋ね等ございますでしょうか。  (「なし」の声あり。)
教育長	ないようでしたら承認することといたします。
教育長	<b>7 教育長報告事項</b> 次に教育長報告に入ります。
教育長	(1) 教育長の主な行動 (資料により説明)
教育長	(2) 町内校長会指導事項等 <b>【指導事項】</b> ○熱中症対応について 8月は校長会を開催していませんが、今年度は、8月17日に臨時の校長会を開催しました。その内容について、ご報告しておきたいと思います。 まず、指導事項として、この緊急臨時の校長会を開いた理由ですけれど、熱中症対応について指導しました。内容については、後ほど通知文でご説明したいと思っています。 ○通学路における緊急合同点検について 通学路の緊急合同点検についてということで、これについても、後ほどご説明したいと思います。 ○全国学力・学習状況調査について 全国学力・学習状況調査の公表についてということで、各校で公表日をそろえて発表をということで指導したところです。本日、このことについても、後ほど担当のほうから説明があるかと思っています。

<p>教育長</p>	<p>○教科書採択について 教科書採択についてということで、委員さんにも採択関係でお世話になりましたけど、9月1日に公表ということで進めていきたいという話をしています。</p> <p>○小学校外国語科並びに外国語活動の授業時数について 小学校外国語科並びに外国語活動の授業時数についてということで、県教委のほうに移行期間中に、いわゆる移行期間中の時数よりも、プラス10時間ぐらい英語を増やせないかということがありましたので、その可能性について協議したところ です。平成30年度、平成31年度が移行期間ということで、今年度、土曜授業を入れたのは、小学校英語が3年生・4年生・5年生・6年生で15時間増えると。だから、4回の土曜授業、3時間から4時間ぐらいするとして、12から15時間を確保するために、土曜授業を年間4回やれば、プラス15時間については確保できたわけですが、平成32年度からは、さらに、3・4・5・6年生について20時間プラスとしなければならない。ちなみに、例えば3年生は、今、15時間ですけれど、平成32年度からは35時間になる。県教委が言うには、突然20時間のプラスというのは急激過ぎるであろうと。段階的に進めるためにも、さらに現在15時間プラスの分を25時間ぐらいにできないかというような話が来ているところ です。うちの場合は、今年度は無理なので、土曜授業を始めていますから、途中から変更は難しいので、来年度はどうするかということを検討していかなければ ならないと思っています。</p> <p>以上の指導、または協議を行ったところです。 私からの報告は以上です。何かご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
<p>事務局</p>	<p><b>8 議事</b> 議案第24号 平成29年度自己点検・評価について (資料により説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>この評価を見られて、ご意見、またお気づき等をいただければ、来年度への改善 に向けてやっていきたいと思っています。</p> <p>少し区切りながら、大項目ごとに評価結果がまとめられておりますけれど、委員 さんのほうからご意見等があればお願いします。</p>
<p>教育委員</p>	<p>中項目4の成果指標の「11 ICTを活用して学習に取り組むことができる児 童生徒の割合」が68%というのは、これはどういう意味合いでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>これは、子どもたちにアンケート調査をして、ICTを活用して学習に取り組 むことができるかという調査がございませう。これを策定した平成28年度の数値 が68%というのが現状値です。それを100%にしようとしたわけですが、 67.7%しか自分ではできると答えていないという結果でございませう。</p>

教育委員	タブレットとかの利用の仕方ができていないということですか。
教育長	これが、ICTを活用してとしか書いていません。県の調査から、そのまま持ってきたんですが、広義にタブレット、それから電子黒板の操作を含めてという指示はしましたけれど、子どもたちからすれば電子黒板の操作というのは先生がするものだという感覚があると思います。あと、技術家庭科とか小学校でもパソコン教室とか、そういったところで操作はしていると思うんです。その中で、自分ができるよと答えたのが67.7%ということですか。
教育委員	わかりました。
教育長	もうちょっと高くしたいところです。
教育委員	そうですね。なぜ、この数字が出るのかが、ちょっとわからないですね。
教育長	ほか、ございませんか。
教育委員	ちょっと教えてもらいたいんですけど、ここのページの成果指標のところのICT機器を使った授業内容をよくわかると答えた児童生徒の割合が、69%で評価がAになっていますよね。11番の児童生徒の割合が68%でC、この差というのはどういうふうに解釈したらいいか。
事務局	2番のICT機器を使った授業の内容をよくわかるというのは69%だったのが、平成29年度には94.9%になった。
教育委員	なったということですね。
事務局	目標値が90%だったので、達成値は105%。
教育委員	わかりました。
教育長	授業はよくわかる、だけど操作はちょっと苦手だ、まだ自信がないという状況だと思います。
教育委員	Dというのが成果で2つ出ていますよね。英語で話すことができる中学生の割合、県学力、6割以上理解している中学生の割合というのが、この達成度18.6%というのは、これをどういうふうに理解したらいいんでしょうか。現状が43%で、達成度が18.6%で、大分、下がってしまったということでしょうか。目標値を、一応70%としてはあったんですが、これが18.6%しかできなかったと理解していいんですか。これは原因じゃないですけど、何かあるんでしょうか。このあたりはどういうふうに改善しようかなと思いつつ、何か理由でもあるのかなとか。

教育長	端的に言ったら、できていないんです。
教育委員	そうですね。
教育委員	この判断は、学力テストでということですか。
教育長	そうです。県学力調査です。
教育委員	実際のテストの結果で判断してということですか。
教育長	はい。
事務局	英語の授業については、先日、中学校の得点を見て、中学校の英語の先生に直接指導を行いました。要するに、授業中に子どもたちが理解をしていないという現状があるということです。先生たちも手応えを感じていない。だから、こういう結果になってくるということです。だから、理解していないということなんです。だから、その辺を授業改善をしてくださいということで、具体的な方法を示しながら指導をしてまいりました。例えば、前々から言っているように過去問ですね。過去問が、今、求められている問題ですので、それを授業の中に生かすようなプログラムを組んで、毎時間の授業の中で、それをやらせてくださいと。具体的に指示をしてきました。それで、ちょっと煙たかったかもしれませんが、校長同席のもとに英語の先生5人を呼んで指導してもらいました。
教育委員	理解力も生徒によって差があると思うんですが、やっぱり全然わかっていない子は、ある程度レベルを下から持ち上げていかないと、一遍に高いレベルは、なかなか難しいので。
事務局	そういう話をしました。とにかく、自己肯定感を上げるというか、100点をとらせてくださいって。易しいところからやってくださいって。
教育委員	そうですね。易しい問題で、まず100点をとることが大事なこともですね。
事務局	そういう話をしてきました。
教育長	いずれにしろ、その悪かった結果というのは真摯に受けとめて、何とかしないといけない話で、英語科、そして、また後で全国学力調査結果のほうでお話が出ると思いますけれども、学力向上については、しっかり取り組んでいかないといけない課題なんじゃないかなと思っています。
教育委員	やはり問題慣れしていないというのが一つの要因なのかもしれませんね。

教育長	それと、授業がどういうふうに進められているかということですね。50分過ぎれば授業は終わるんです、理解してもしなくても。そういう授業であるとするならば、大きな課題があるということです。
教育委員	全然違うレベルの人に同じことしか言っていないから、ますます差が激しくなるんですよ。わかっている人たち、教室なんかを分けて、わかっている子たちには易しい英語で会話するとか、そういうふうな仕方をしていかないと、何を言っているのかわからなくなってしまうと思うんですよ。英会話なんか特にです。
教育長	特に英語科の場合は、ご理解あるように積み重ねだと思えます。どうしても、その進度的にこの文法をやらないといけないことが出てくるわけけれども、それ以前につまずいていたら、非常に苦しいわけです。
教育委員	全然おもしろくないですもんね、わからなくなったら。
教育長	小学校の英語活動と絡めながら、本当に真剣に考えていかなければならないと思っています。
教育委員	ちょっと外れるかもしれないんですけど、西日本新聞に、週1回英語の記事が出るんですね。それがこの前のタイの洞窟の話だったり、高校生がアメンボを発見したことだったり、「残念な生き物」という本が1番になったというような記事だったので、そういうところに興味を持つ、そして、易しいところから、下の子どもたちが興味を持つところから触れ合う、そういうのも必要なと。
事務局	<p>ちょっとつけ加えて言わせていただきます。</p> <p>小学校の英語活動と中学校の英語学習が、ものすごいギャップがある。子どもが小学校のときは、ALTさんと一緒になってゲーム中心に、もう楽しい楽しいなんです。書けないけども、しゃべったり、ゲームしたり、英語の時間が楽しみになる。それは、佐々小も口石小も同じ。ところが中学校に行くと、まず書かせるところから入って、覚えなといけないし、中学校の先生の悩みはそこだという。この前、ちょっと悩みを聞いたんですけども。そこが、今からの課題だと思うんです、佐々町の。小中のギャップをなくす。英語活動から英語学習に移行していくときに、楽しい楽しいばかりの英語活動ではなくてです。ちょっと改訂で、小学校にも書くことが入ってきましたので、それとリンクさせながら、中学校の英語にスムーズに行くように、英語担当者会というのを立ち上げましたので、小学校の英語担当者と中学校の英語の先生と一緒に協議をしながら進めていく方向で、今、計画をしているところです。</p>
教育委員	幼稚園との連携とかはあるんですか。
教育長	幼稚園・保育園との連携についても、これは現在、検討中です。現在、幼稚園

教育長	や保育園では15から30時間ぐらいですか、今、英語をやっています。町の補助で、英語と体育を大体とっていました。ところが、小学校1年生になると、英会話の時間がなくなるんです。なくなるけれど、できなかったのは授業時数の問題だったんですね。ところが、土曜授業をやることによって、十数時間が生まれてきました。1・2年生については、時数増はありません。15時間ぐらい増えた授業時間を活用ができないかということで、現在、考えているところです。ただ、教材がないからどうしようかなというところです。
事務局	5、6回はやっています。
教育長	それを現在検討中ということで、来年度は、何か形を出したいと思います。
教育委員	成績のいい市なり町なりに、学校によっても成績の高い学校があると思いますが、そのあたりの現場に先生たちを見に行かせるとか、そういった計画はありますか。
事務局	それも、この前、指導を行ったときに、先進校のほうに視察に行かせてくださいということを校長のほうにお願いをしているんです。だから、成果を残している学校に担当者をやる。やって、どんな指導をしているのかというのを、まず指導者が見るといことが大事なので、それも、今、働きかけているところです。
教育委員	わかりました。
教育長	よろしいでしょうか。大項目の2「豊かな人間性、社会性を育む教育の推進」というところで、引き続き、またご質問等あれば。ここで答えるというよりも、ご意見いただいたことを今後に生かすという意味でご発言いただければと思います。
教育委員	やはり図書館の児童貸出冊数ですか、小学校はいいのに中学校が悪いというのは、それだけ中学生にゆとりがないということではないんですか。本を読む時間がない。部活だったり受験勉強だったりとか、このあたりの影響は何なんでしょうか。何かその状況が根底的にあるのであれば、この目標値を少し是正するとか、何かしないと、いつまでたってもパーセントは上がらないので、そのあたりが実際の現状がどうなのかなと思ってですね。ほかにすることがたくさんあるのであれば、なかなか読書の、もちろん、今はゲームだなんだってする時間が、昔に比べるとそっちに使う時間も増えているとはいえ、どんなもんなんでしょうね。
教育委員	これは、小学生なんか簡単なものをたくさん、わあっと競争みたいにして読んで、中学校になったらある程度の内容をじっくり読むから冊数が伸びないのではないのでしょうか。読書離れは進んでいますけど。

事務局	それは、もうおっしゃるとおりです。低学年なんか、薄いので30分もあれば読んでしまうような本をカウントしていますので、中学生はこんな内容は見ませんので、絵本的なものなんです。それだけの内容があるんで、中学生とは違うと。
教育長	そういったご意見を伝えたいと思いますけれど、ただ、現状値が14で10に下がっているということです。だから、これは取り組みに課題がないかということを見直しをすることが必要だろうと思っています。ただ、この目標値の80冊、20冊というのは、ちょっと高目かなとも思います。14に対して20は高目かなと思いますが、やはり20を目指さなきゃいけないなというところを出した数値です。
教育委員	具体的な原因みたいなものは、把握はできていないと。
教育長	そうですね。その学校段階におりないと、具体的には、ちょっとわかりづらいですけども。
教育委員	逆に、おっしゃったように、いっぱいいっぱいの時間を中学生が使っていて、ゲームもしたい、読書もしたい、そしたらゲームをとるというふうな、やっぱり短い、細切れで生活をしているから、本をじっくり読む時間がないんじゃないかなと思うんです。やはり読み出したら1時間ぐらいは読むけど。
教育長	それは大きいと思いますね。 よろしいでしょうか。また、全体を振り返ってということで、次のページ、「3健やかな体を育成する教育の推進」というところで、やはり評価の低い項目だろうと思いますけれど、いかがでしょうか。
教育長	ここの、33の項目のCですけど、これは私のほうから。 ここの項目については、全国体力運動能力テストの結果が県平均を上回る調査項目の割合というふうに設定したわけです。来年度から上回る調査項目の割合というのを、全国との比という形でとっていこうと思っています。前回の定例教育委員会の中で、本町の体力の状況についてご説明したと思いますが、決して劣ってはいないんです。そのあたりが見えづらくなるので、来年度からは、これを変更していこうと思っています。
教育委員	県平均より上回っているのも何種目かありますからね。そして、落ちているのが、ちょっとがくんと落ちているから、平均がどうしても。でも、結構上回っている項目も多いんですけどね。
教育委員	これだと全体的にも低いようなイメージがある。
教育長	そうなんです。



教育委員	不思議だなと思って。
教育長	何を指標にするか難しさだろうと思うんですけど、上回る項目の数となった場合、これは非常に見た感じが下回っているとしか出てこないということです。
教育委員	現状値の40からすれば、2割は向上しているということですから。
教育長	そう見ればそうなんです。
教育委員	だから、毎回DだったのがCになっていくと。
教育長	そういうふうにご理解いただければと思います。
教育委員	そのあたりが反映されないのであれば、直していく必要がありますよね。
教育長	はい。よろしいでしょうか。次のページで、「4 信頼される学校づくりの推進」について、いかがでしょうか。
教育長	改善されたのが41番、成果指標の「不登校児童生徒の割合」というのが0.6ということで、現状値が1.06が0.6。
教育委員	不登校はよくなったけど、教室に入れない子が増えているということはないですか。
教育長	増えているという傾向はないと思います。前からもいました。
事務局	ずっと、継続している子ですもんね。
教育委員	先生たちが長らく目を離されないような状態の子どもさんもいると思います。
教育委員	絶対的な数が減っているというか。
教育長	減っています。ここ3年ぐらい減っています。
教育委員	不登校の生徒も、あんまり無理強いしないほうがいいというような課程もあるんですよ。そういうところも勘案しながら、ただ数を減らせばいいというような問題ではないのかもしれないですよ。
事務局	昔は、無理やり連れてきていましたけど、今は、そういうことはしていません。

教育長	<p>校長会の指導の中では、最終的には子どもたちが自立することが目的なんだと。だから、不登校を減らすということじゃないんだという話。不登校だから悪いとか、不登校だから何とかとか、そういう扱い方というのは、事態を防ぐことにはならないというふうな話をしています。この前も、ちょっと話をしましたけれど、私自身は、これが3年前から始めたQUの結果だとすれば、不登校になる前の対応ということで効果が出ているとすれば、非常に素晴らしいことだなと。予算化してやっているわけですが、心理の状態を客観的に把握する指標がどうしても欲しいなという思いでQUをやったんですけど。また、今年も予算を要求していくと思うんですけど、その成果かもしれない。平成27年度が中学校4.2%、平成28年度が2.8%、平成29年度が1.8%と減っています。</p>
教育委員	<p>QUの結果でカウンセリングとか、そういうふうな方は、年間に何人かはいらっしやるんですか。</p>
事務局	<p>QUの結果で分布表が出てきます。一目瞭然、見ればすぐわかる。右上のほうに集団がおれば、望ましい集団なんです。こちらの下のところにいる子を担任が教育相談したり、カウンセリングしたり、引き上げたり、自己肯定を上げたり、そういう指標になるわけです。だから、非常に役立っていると思います。</p>
教育委員	<p>この前の市町村教育委員会でも、そのQUとか、i-checkとか、そういうのをしたいんだけど、お金が高いのという意見もあって、いいというのはわかっているという、その教育委員さんたちの意見がほとんどでした。また、この中の43番の自己肯定感ですか、よいところがあると思う児童生徒の割合が高くなっているというのは、やはりそんなふうに、そういうチェック体制と、それに対するスクールカウンセラーの先生たちがされているということが不登校の減少にもつながっているんじゃないかなと思いました。</p>
教育長	<p>泣く子や暴れる子や感情を出す子はわかります。表現しない子は、なかなかわからないです。教師の見る目、観察眼というのは、非常に優れているとは思いますが、パーフェクトではないと思うんです。何か客観的な検査があれば、直感だけではなくて、感覚だけではなくて、「あっ」というところが、そういうことに役立てばというふうに思っていますし、今後とも続けるということで、お力添えをいただければと思っています。</p> <p>次のページ、よろしいでしょうか。「教育環境整備の推進」というところで、後からも出てますが、佐々子応援団挨拶参加者数というのは、もう100というのは、余りにも高過ぎるということで、来年度から変更したいと思います。</p> <p>「子ども安全確保対策の推進」というところで、ご意見はないでしょうか。</p> <p>これも、後から報告があると思いますが、登下校の安全のほうについては、また工夫が必要になってくるかと思っています。</p> <p>それから、6の「学校・家庭・地域の連携の推進」というところはよろしいでしょうか。本当に地域の方々には感謝しています。ここもまた、いろんなことを考え</p>

教育長	ながらやっついこうと思っています。公民館学習会は、なかなか盛況だった。
教育委員	助かっています。
教育長	公民館学習会はどうだったでしょうか。
教育委員	何か楽しんだようです。みんなが行くから行くとか、ちょっと義務的に行っている感じもあるんですけど、結果が出るんでありがたいです。親としてです。
教育長	次のページです。7番「生涯学習・社会教育の推進」というところです。何かありませんか。 ここも、目標値の見直しをかけた項目がございます。
教育委員	結構、「佐々町はいろいろあっていいね」ってうらやましがられますし、そんな近くでできるというので、最近はさざんか教室ですか、いろいろ企画ができていますけど、あれに、佐々町以外の方も参加したいということで申し込む方もいらっしやる。この前多かったんでしょう、多分。そういうふうに物すごく興味を持つようだと、どんどん申込者が増えるんじゃないかなと思って、最近、ちょっと感じてはいますけど。
教育長	去年から感想というか、評価をしてもらって、ご意見を生かしながら改善を重ねていくという工夫はしています。だいた、担当のほうは、苦勞をしながら、魅力的な講座を行っています。
教育委員	でも、何か最近、魅力的ですね。人数が増える。
事務局	最近、なるべく受講者の方々のニーズに沿った講座、いろんな企画をしていますので、それが口コミで広まって、佐世保とかのお友達も一緒にいらっしやるという方が多いみたいです。
教育委員	何か、口コミがものすごく、今、あっちこっちに行っているみたいです。
教育長	地域交流センターの使用についてもそう思ったんですけど、やはり口コミの効果って結構ありますね。ネットも大切だけれども、「いいよ」という一言ですね。
教育委員	だから、ここはいいよねって、みんな、使いやすいよねって言っていますね。
教育長	続きまして、8番「生涯スポーツの推進」というところで、これも目標値を変えながらやっついこうと思っていますけれど、いろんな生涯スポーツ関係で町内全体見られてどうですか、佐々町の状況というのは。委員さん方、見られて、各種大会、開会式等ご参加いただいたりするわけですけど。

教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それでは、9番「芸術・文化を守り、育てる活動の推進」というところで、これについてはいかがでしょうか。</p>
教育委員	<p>皆さん結構、佐世保市からもいらっしゃっている方も見受けられるので、いいプランをよく立てていただいているなど、講師なんかもですね。いい方を選んで講座を開かれているなという感じはします。</p>
教育長	<p>かなり、ここは工夫しながら、佐々歴史悠学等を去年しましたけど。</p>
教育委員	<p>あれはよかったですね、一番。佐世保の中でも有名な方を呼んでいただいたんで、非常によかったと思いました。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。全体的に、よくなされているということで総括したいと思います。</p> <p>10番「新たな地域文化創造の推進」ということで、いかがでしょうか。地域交流センターはいかがでしょうか。推移、利用者数の変化は、昨年と比べてみて。</p>
事務局	<p>昨年度と比べて横ばいぐらいだと思います。1階部分は変わりません。2階が最初の盛り上がり比べて、若干減る傾向にあるのかなと。</p>
教育長	<p>あのとき、イベント的なものをいくつか持ってきてもらったから、4、5月は上がったでしょうからね。1階は武道が中心だから横ばいの感じでしょうね。よく、夜は利用されていますもんね。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
教育長	<p>昼間の利用っていうのは、やはりなかなか難しい。</p>
事務局	<p>なかなか昼間は、どうしてもメインが部活動以降の体育協会等の活動になりますので。</p>
教育長	<p>しかし、念願の武道ができるところもできてよかったですと思います。</p> <p>それでは、全体として何かございませんでしょうか。なければよろしいでしょうか。</p> <p>それから関連して、この前、点検・評価の変更についてということで、先ほど、委員からご指摘があった目標値が高すぎる、現実にあっていないとか、表現が曖昧であるとかということについて変更しようということで、ご提案したんですけれ</p>

教育長	ど、これについては、よろしいでしょうか。このまま、一応、外部評価委員のほうに提出したいと思っています。いましばらく時間がありますので、もし、お気づきがあれば、ご連絡いただければと思っています。
事務局	議案第30号 佐々町図書館管理運営規則の一部改正について (資料により説明)
教育長	ご質問等ございませんでしょうか。これは破損等の場合も、別の条項にあるんですね。図書の貸し出しみたいに。
事務局	もし、万が一破損した場合には、本と同じで現物でお支払いいただくということになります。ただ、ここは内規上で、図書館から利用者の方に貸し出す際には絶対にお伝えしようと思っているんですけども、このDVD資料、普通の書店で売っているようなDVDと違って、かなり高額です。問題は著作権がクリアされているということです。1枚当たり2万円か3万円します。それをご理解いただいた上での貸し出しをさせていただこうというふうに思っています。このような取り扱いは、ほかの図書館も同じです。
教育長	意見等いかがでしょうか。まず、こういうことをやるということについていかがでしょうか、DVDの貸し出し。
教育委員	全体の流れがそういう流れであれば、致し方ないんじゃないんですか。
教育長	よろしいでしょうか。  (「異議なし」の声あり)
	<b>9 報告事項</b>
事務局	(1) 全国学力・学習状況調査について (資料により説明)
事務局	(2) 佐々町学校給食施設整備検討委員会について (口頭で説明)
事務局	(3) 子ども議会について (資料により説明)
事務局	(4) 平成30年度事業関係について (取下げ)

教育長	(5)通学路における緊急合同点検について (口頭で説明)
事務局	(6)熱中症への対応について (資料により説明)
教育長	<p>今、説明がありましたけれど、熱中症防止についての通知の中で、臨時休業日を設定する場合は後日連絡することとなっています。来週、ぎりぎりまで様子を見ながら判断したいと思いますけれども、今日の西日本新聞で、夏休みを延長した地区が九州地区で2つあると載っていました。しかし、よく見たら、あれは1週間短縮した分を元に戻したと、9月3日に戻したということです。9月3日以降まで延ばしたということではないようです。また、授業時数確保、英語授業の対応のために、1週間縮めたのを9月3日に戻したということのようです。他自治体等とも協調しながら判断したいと思います。</p> <p>それから、3番目のWBGTなんですが、同じように度数であらわされるから、ちょっとわかりづらいんですけど、気温、そして湿度、そして輻射熱、いわゆる照り返し等の要因を加えてWBGTで31℃以上は運動原則中止と、乾球温度と書いてありますが、これは気温ですね、大体、35℃以上では運動を原則中止ということで対応ということにしています。各教室につけられた熱中症計並びにそれがないときには例えば部活動等ですね。気温で35℃以上の場合は原則中止ということで指導しています。</p> <p>それから、17日の臨時校長会の中で、環境省のホームページの中に熱中症予防情報サイトというのがあります。これが、3日後ぐらいまでの指数、WBGTの予想指数が載っていますので、それを見ながら学校行事、校外での活動を予定する場合には判断するよということに話をしたところです。</p> <p>なお、大きな校外での活動行事としては、佐々小学校が9月26日ぐらいでしたか、世知原町のほうで、野外宿泊学習をするということになっていたようだけれども、それまでには落ちつくのではなかろうかなというふうに期待しているところです。</p>
教育委員	エアコンをつけたら夏休みを短くしていいという話もありますよね。
教育長	当然、出てくると思います。時数確保のためには、文科省もそう言っているわけで、そうなる方向だろうと思います。
教育委員	9月以降、学校が始まってからはWBGT指数が警戒レベルに上がった場合はどうするんですか。
教育長	原則運動中止ということになっていますので、登校させるなというふうにはなっていないです。朝からそういう状況が続くようであれば、自宅待機とかいうことになると思いますけれども。

教育委員	授業の影響とかは、特にないですか。
教育長	先ほどの指数を見ていただいて、各学校の値があると思いますけれど、WBGTが31℃以上というのが、例えば佐々小学校、20日の始業式の午後に出ているわけです。これは教室を閉め切っています。子どもはいないということで。口石小学校で7月19日の13時に31.3℃と出ているわけですが、ほかは、ちょっと危険、厳重警戒という段階がほとんどであって、大体31℃、32℃までなるということは、今まではあっていません。ただ、場所によって、その教室だけ暑いとか、そういうときは柔軟に特別教室、1階を使うとか、エアコンが設置されている教室を使うとか、そういう柔軟な対応については指導していきたいと思っています。今のところは大丈夫だと思っているんですけど、実際、中学校の場合は部活動をやっていますし。
教育委員	暑さが、だんだん変わってきているというのが、やっぱり大きいですもんね。どこでも更新しているから。
教育長	今日は、特に何か違うような暑さですね。
教育委員	何か寝られない、注意報が出ていますもんね、外に出るなって。
教育長	むーんとした暑さですね。こういう状況で、例えば33℃とかなれば緊急下校とか、逆に下校させたら危ないという判断があれば、逆に涼しいところで授業とかということになると思うんですけど。今朝は涼しかったですね。
教育委員	朝晩は涼しくなったんですけど。
教育長	柔軟というか臨時の対応ということが求められるかもしれないですね。
教育委員	そうですね。判断が難しいところですね。
教育委員	教室でも日当たりが全然違うんですよ。
教育長	判断が難しい中で、このWBGTという指数が明確になったので、31℃以上になったら運動は中止と。これは部活動を含めてですね、そういう判断はできるとしています。
教育委員	体育館は調べているんですか。
教育長	体育館は調べていません。
教育委員	体育館が、口石小か何か、風通しの悪いところに建っているから。

教育長	あそこも熱中症計はつけていますので、気温35℃を目安にしながらの対応になると思います。
事務局	(7)第15回長崎ゆめ総体開催記念ジュニア・バレーボール大会の延期について (資料により説明)
教育長	来年度の開催については。
事務局	大岳、わしおジュニアバレーボール部等の関係団体とも話をしているんですけど、毎年8月の初旬でしたら、毎年同じ結果になります。なので、今回、改めて時期を設定して、その時期が他の招待チームにも影響がなければ、そこをメインに検討していきたいと思っていますところです。昨年度実施時期を見直したジュニアサッカー大会と同じ対応です。
事務局	(8)名義後援について 1件分について報告。
事務局	(9)準要保護の8月認定について 申請がなかったため取り下げ。
事務局	(10)行事関係報告について 主な教育委員会行事の8月実績および9月予定について報告。
事務局	(11)その他 ・宝くじ文化公演について
	(16時5分 閉会)
	上記のとおり会議の次第を記載して、相違ないことを証するためにここに署名する。
	平成30年8月21日
	教育長 黒川 雅彦
	委員 十時 嘉代子